

e-23) クビボソコガシラミズムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(20)に示す。

本種は、栗並地区の鷹ノ羽集落周辺1地点で、ライトトラップにより生息が確認された。

本種の生態に関する詳細な情報は得られなかったが、本種の属するヒメコガシラミズムシ属の仲間はほとんどが止水性で、特に水草や藻類の多く繁殖している水域に生息している⁵¹⁾とされる。

生態情報及び確認状況から、本種は、当該地域において、鷹ノ羽集落周辺の止水環境に生息している可能性がある。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された栗並地区の鷹ノ羽集落周辺1地点は、貯水池の出現により消失する。

なお、本種の属するコガシラミズムシ類は池等に生息するとされることから、供用開始後貯水池内で生息する可能性があるが、不確実である。

これらのことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) まとめ

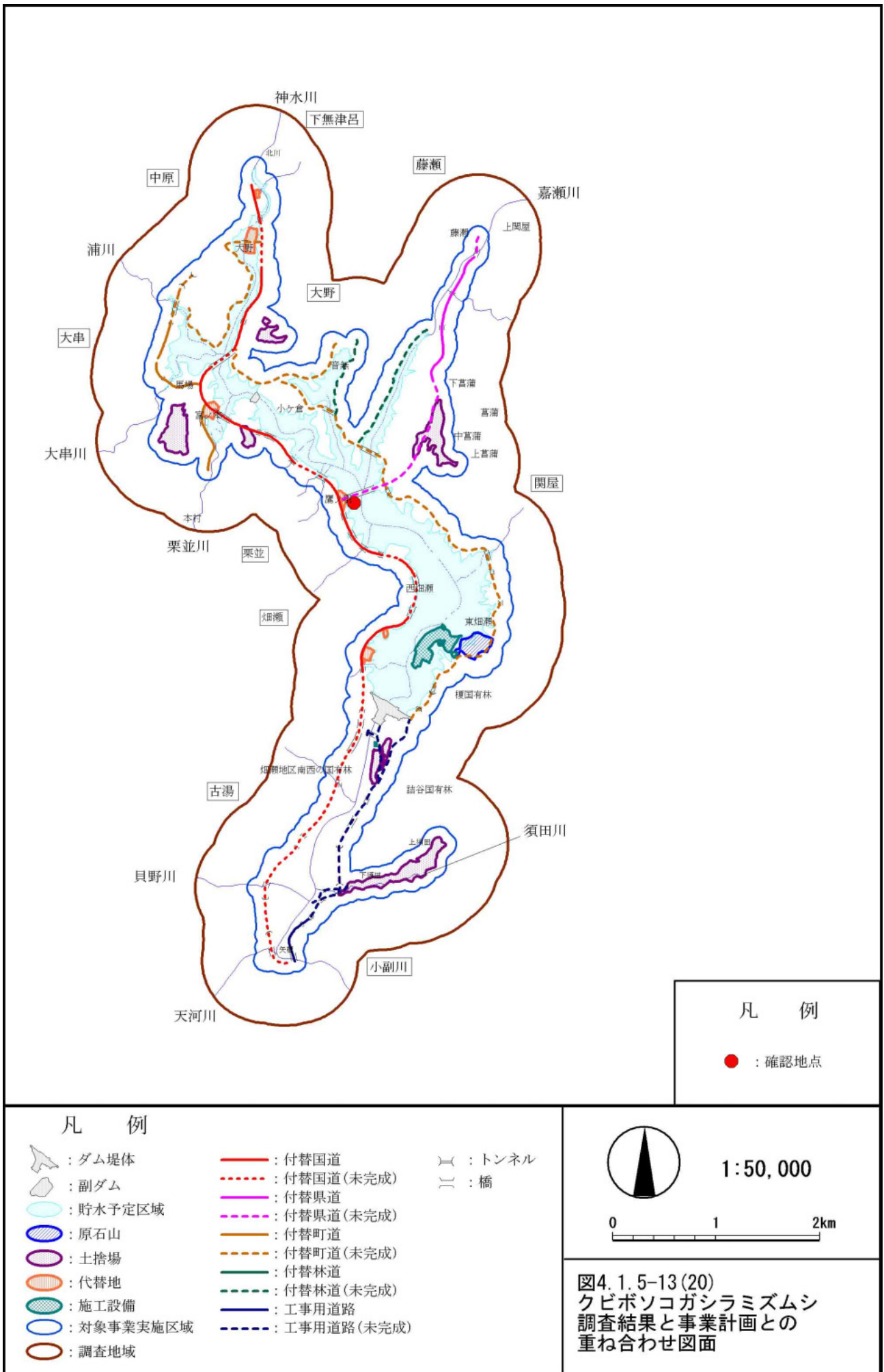
本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点は、対象事業の実施による貯水池の出現により消失する。

なお、本種の属するコガシラミズムシ類は池等に生息するとされることから、ダム供用開始後に貯水池内で生息する可能性があるが、不確実である。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実

性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



e-24) シロスジコガネ

本種は、平成9年度の調査において、栗並地区の鷹ノ羽集落周辺1地点で、ライトトラップにより生息が確認された。

本種は海岸地方に産し、灯火に集まる⁴⁷⁾。海岸のマツ林に多い⁴⁸⁾。幼虫は海岸付近の砂地にすみ、根を食べて育つ⁴⁹⁾。

生態情報から、本種は、海岸のマツ林に生息するとされており、当該地域を主な生息地としていないと考えられる。また、専門家への聴取により、本種は偶来種であるとの情報を得た。

これらのことから、本種に対する対象事業の実施に伴う直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響は想定されない。

e-25) カタキンイロジョウカイ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(21)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において確認された記録がある。

本種の生息環境については、生態情報が得られなかったため、不明である。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

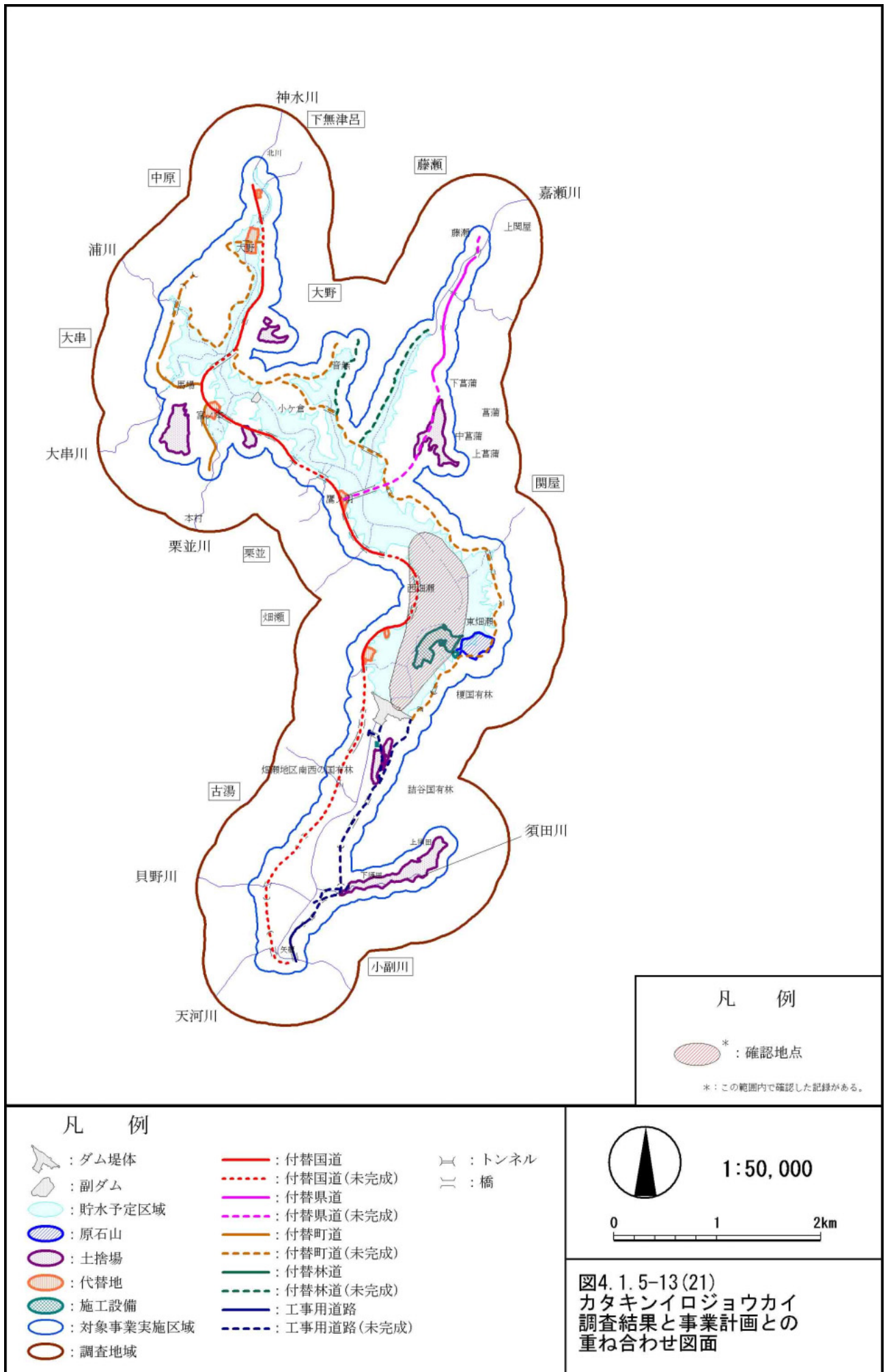
ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影

響を受けると考えられる。

本種が確認された地点の大部分は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



e-26) ゲンジボタル

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、平成9年度の環境巡視において古湯周辺で確認された記録がある。

本種の予測の結果は、幼虫と併せて「f) 底生動物の重要な種」で記述する。

e-27) ミヤママルカツオブシムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(22)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において確認された記録がある。

本種の生息環境については、生態情報が得られなかったため、不明である。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

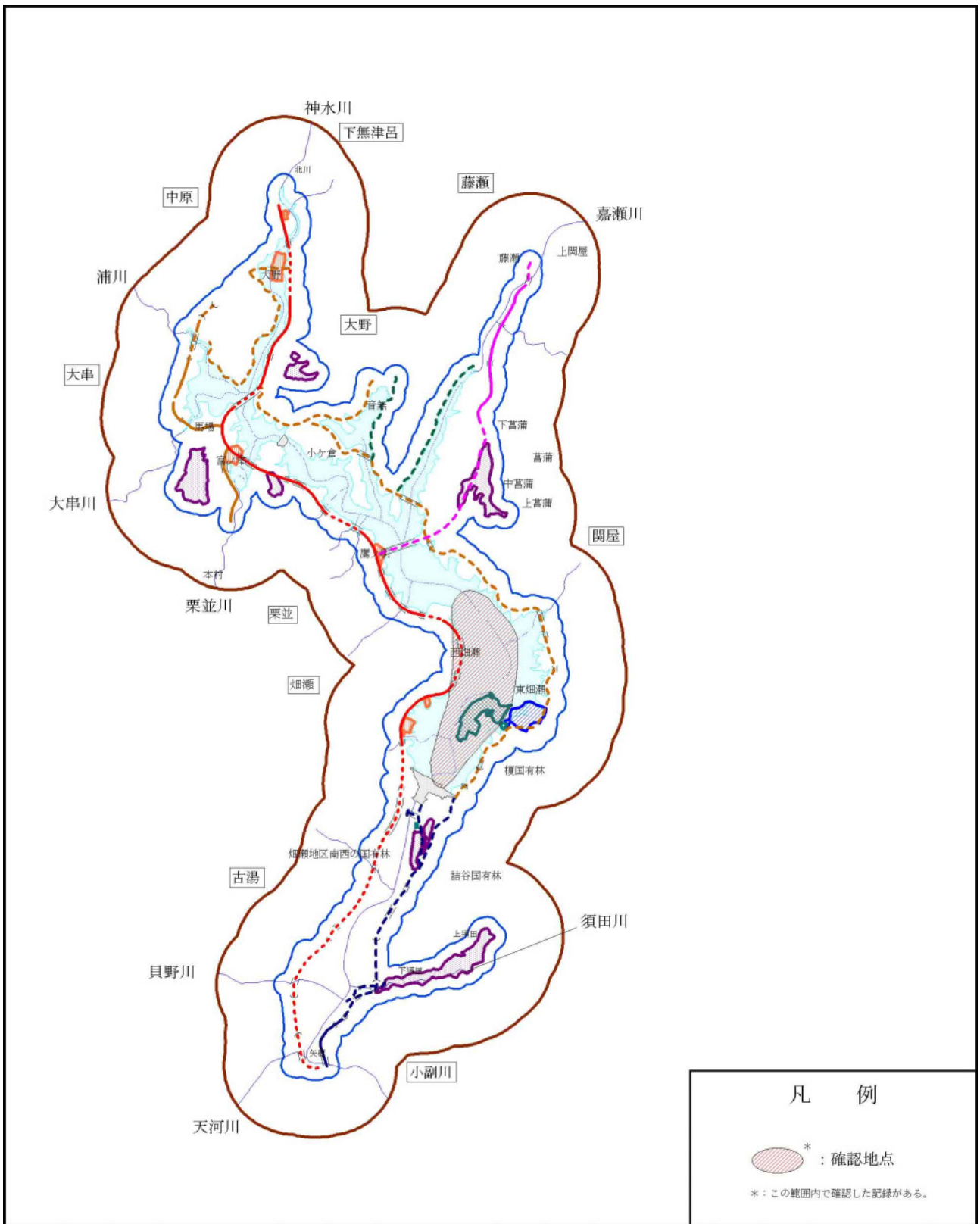
このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点の大部分は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



凡 例

* : 確認地点

* : この範囲内で確認した記録がある。

凡 例		
: ダム堤体	: 付替国道	: トンネル
: 副ダム	: 付替国道(未完成)	: 橋
: 貯水予定区域	: 付替県道	
: 原石山	: 付替県道(未完成)	
: 土捨場	: 付替町道	
: 代替地	: 付替町道(未完成)	
: 施工設備	: 付替林道	
: 対象事業実施区域	: 付替林道(未完成)	
: 調査地域	: 工事用道路	
	: 工事用道路(未完成)	

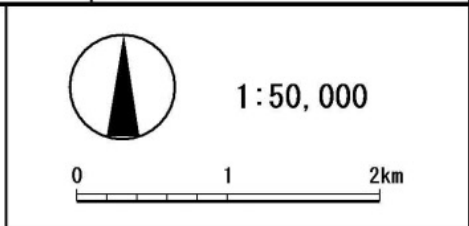


図4.1.5-13(22)
ミヤママルカツオブシムシ
調査結果と事業計画との
重ね合わせ図面

e-28) ウスキホシテントウ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(23)に示す。

本種は、関屋地区の上菖蒲集落周辺1地点、神水川の北川橋下流1地点、合計2地点で生息が確認された。また、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種の生息環境については、生態情報が得られなかったため、不明である。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、関屋地区の上菖蒲集落周辺1地点、神水川の北川橋下流1地点、合計2地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

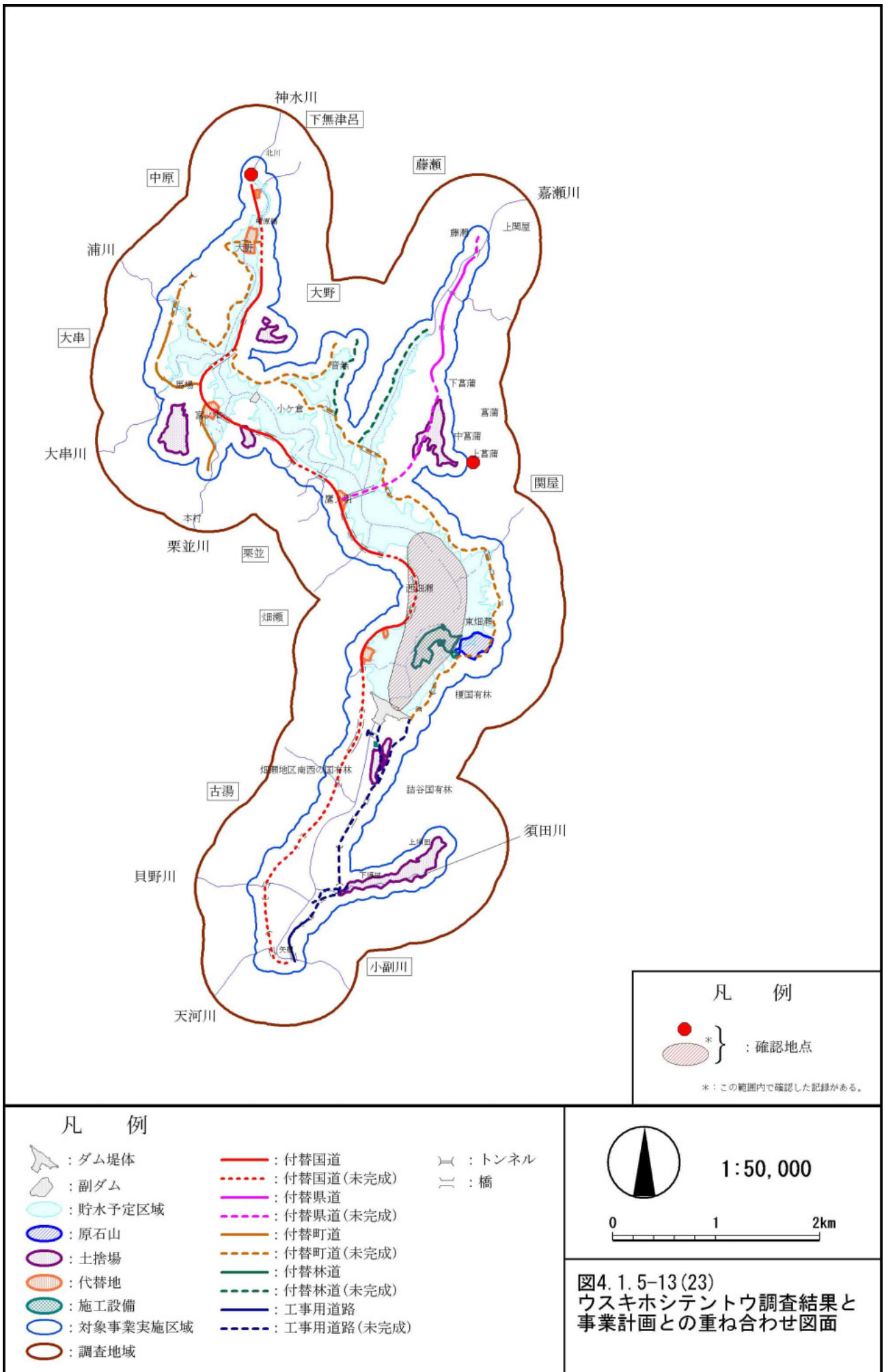
一方、東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種が確認された地点の一部は、対象事業の実施による施工設備及び工事用道路の設置等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、一部の生息地が残存することから、本種の生息は維持されることが考えられる。



e-29) キボシチビヒラタムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(24)に示す。

本種は、栗並地区の鷹ノ羽集落周辺1地点で、ライトトラップにより生息が確認された。

本種は、倒木の樹皮下等⁴⁸⁾、成虫、幼虫ともに枯木の樹皮下にすむ⁴⁹⁾とされる。

生態情報から、本種は、倒木や枯木が多いと考えられる常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)に生息すると考えられる。

なお、本種の生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された栗並地区の鷹ノ羽集落周辺1地点は、貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

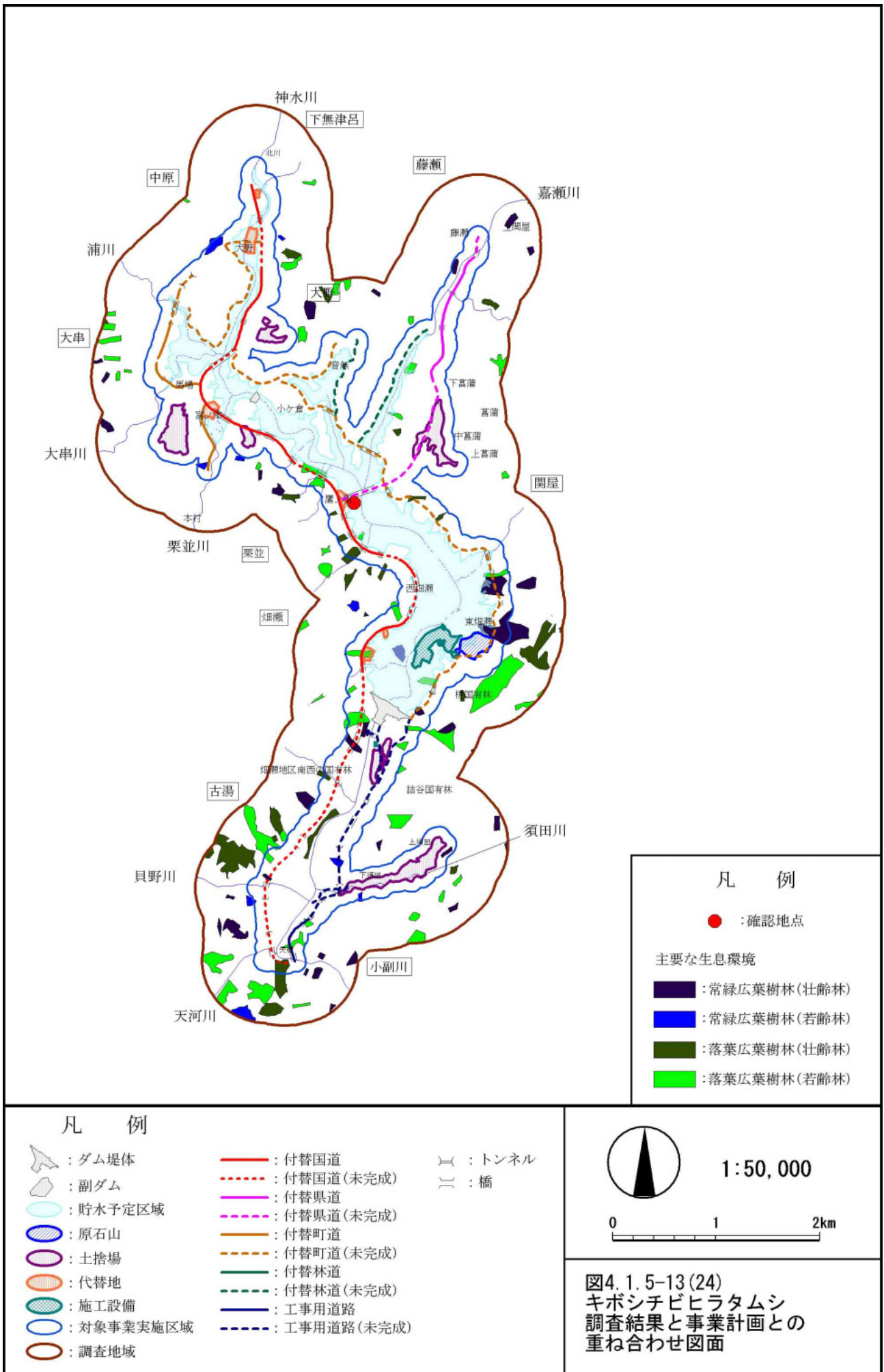
しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいとされる。

本種の生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



e-30) オオキバチビヒラタムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(25)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種は、成虫、幼虫共に枯れ木の樹皮下にすむ⁴⁴⁾。

生態情報から、本種は、枯木が多いと考えられる常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部及び本種の生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)が残存することから、本種の生息は維持されることが考えられる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

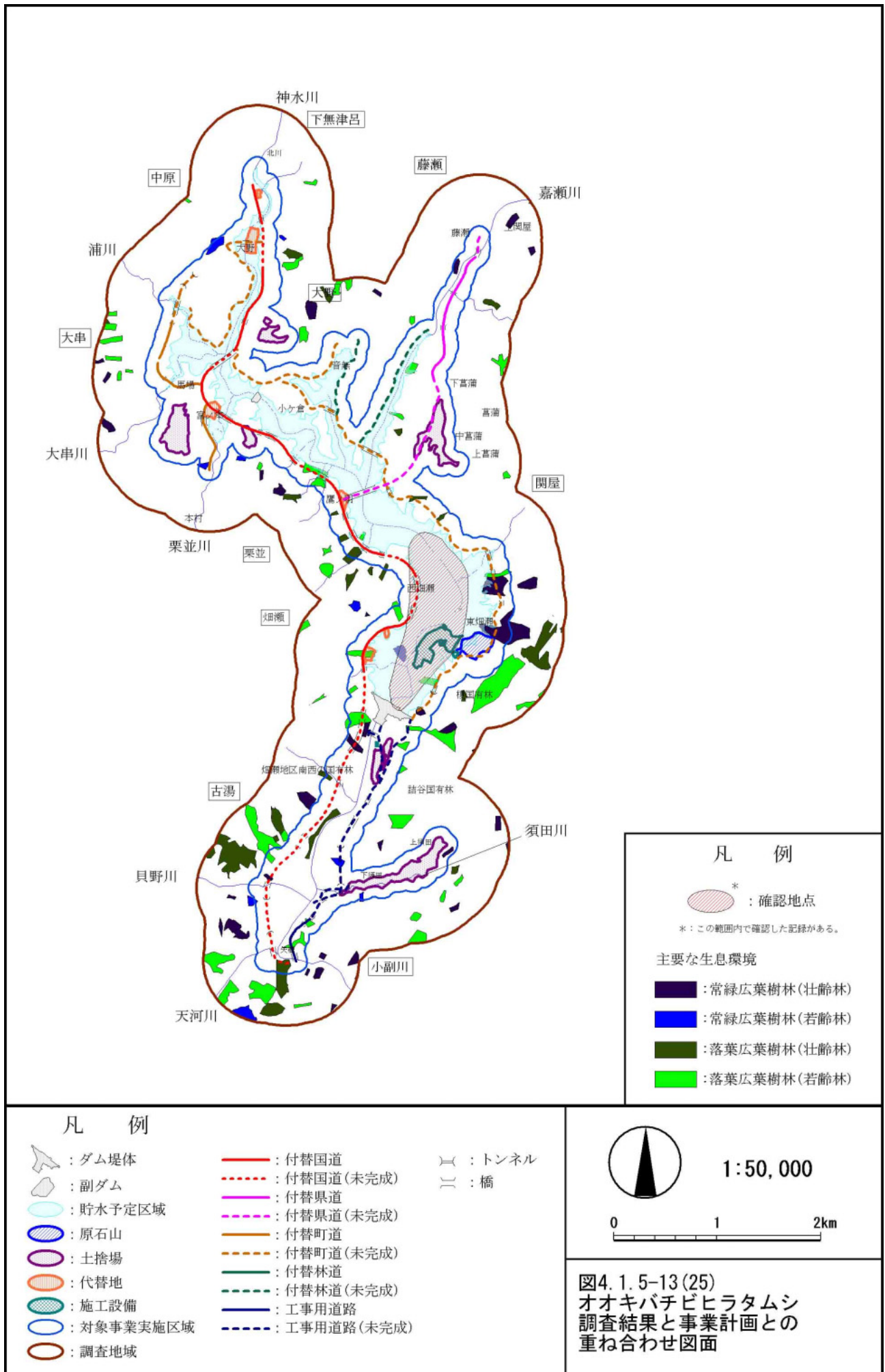
しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいとされる。

本種の生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である常緑広葉樹林(壮齢林)及び落葉広葉樹林(壮齢林)が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



e-31) ホソニセクビボソムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(26)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種の生息環境については、生態情報が得られなかったため、不明である。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・ 生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

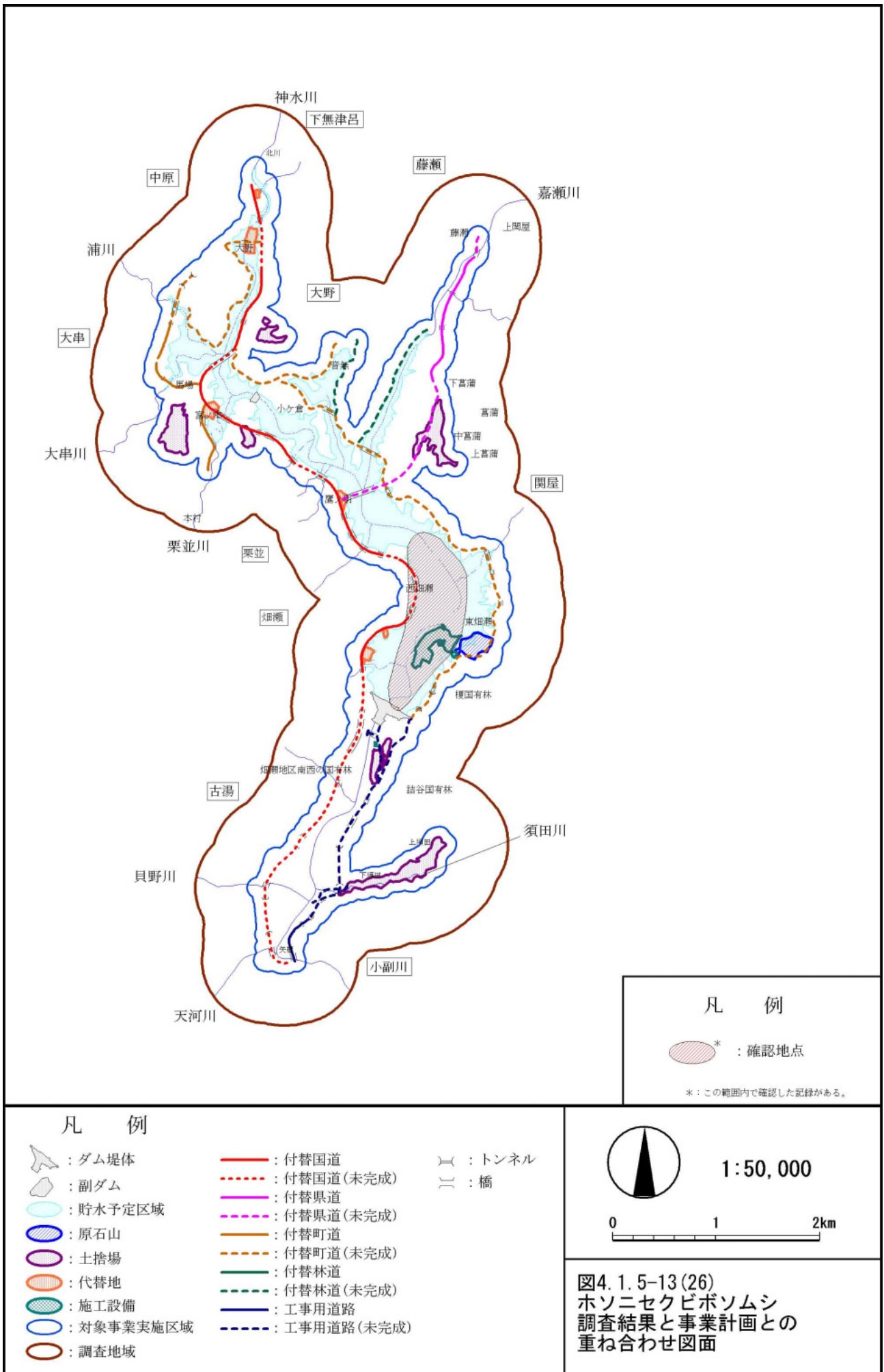
このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点の大部分は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



e-32) ハガタホソナガクチキ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(27)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種の生息環境については、生態情報が得られなかったため、不明である。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・ 生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

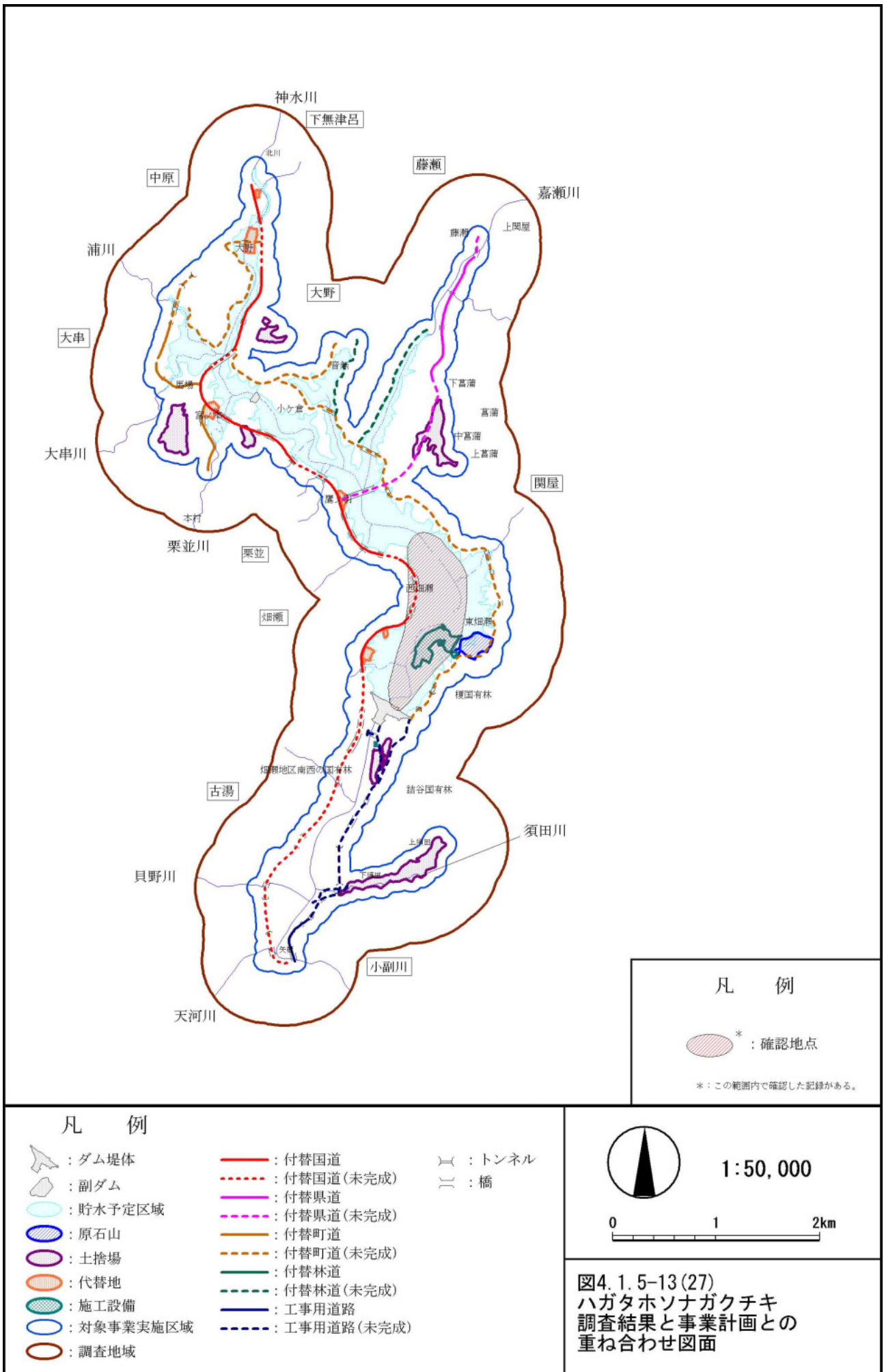
このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点の大部分は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



e-33) カッコウメダカカミキリ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(28)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、音無周辺及び東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種の成虫は5月～6月に現れ、イヌザンショウの花や、クリ、クヌギ、イヌビワの枯れ木及びフジの枯れづるに集まり、幼虫はこれらの枯れ木の中で生活することが知られている⁴⁹⁾。

生態情報から、本種は、落葉広葉樹林に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部及び本種の生息環境である落葉広葉樹林の一部は、既に工事用道路の設置及び道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された音無周辺及び東畑瀬集落南周辺の一部は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である落葉広葉樹林は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である落葉広葉樹林の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

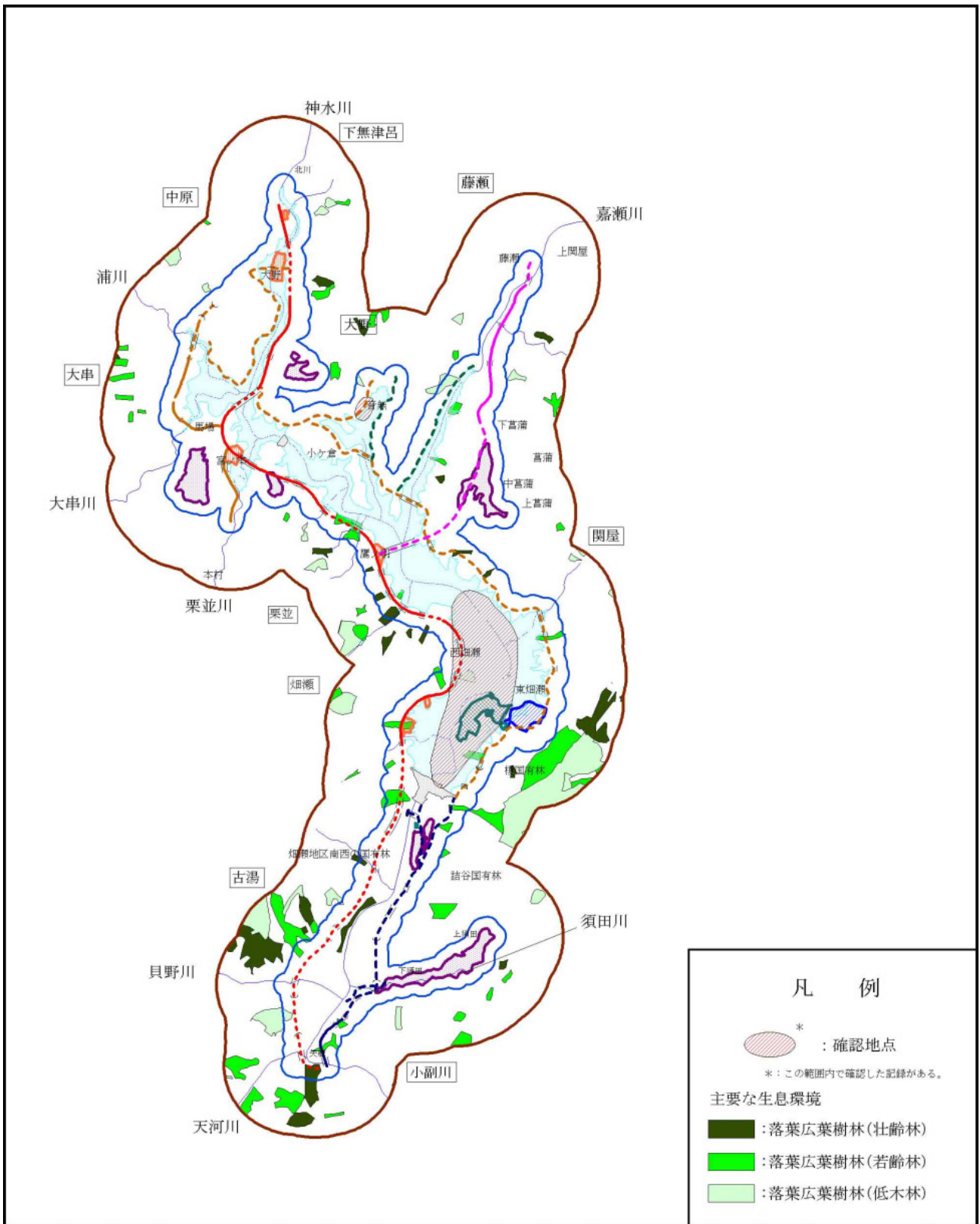
しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいとされる。

本種の生息環境である落葉広葉樹林の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



凡 例

*
 : 確認地点
*: この範囲内で確認した記録がある。

主要な生息環境

- : 落葉広葉樹林(壮齢林)
- : 落葉広葉樹林(若齢林)
- : 落葉広葉樹林(低木林)

凡 例

<ul style="list-style-type: none"> : ダム堤体 : 副ダム : 貯水予定区域 : 原石山 : 土捨場 : 代替地 : 施工設備 : 対象事業実施区域 : 調査地域 	<ul style="list-style-type: none"> : 付替国道 : 付替国道(未完成) : 付替県道 : 付替県道(未完成) : 付替町道 : 付替町道(未完成) : 付替林道 : 付替林道(未完成) : 工事用道路 : 工事用道路(未完成) 	<ul style="list-style-type: none"> : トンネル : 橋
---	---	---

1:50,000

図4.1.5-13(28)
カッコウメダカカミキリ
調査結果と事業計画との
重ね合わせ図面

e-34) ヒメキベリトゲハムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(29)に示す。

本種は、大串川の上古賀集落周辺1地点で生息が確認された。また、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種の食草はサクラである⁵³⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は、サクラ類が生育する常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部及び本種の生息環境である広葉樹林の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、大串川の上古賀集落周辺1地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されることが考えられる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

- ・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

本種が確認された大串川の上古賀集落周辺1地点は、直接改変以外の影響を受ける可能性のある改変部から50mの範囲に位置しない。

一方、対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

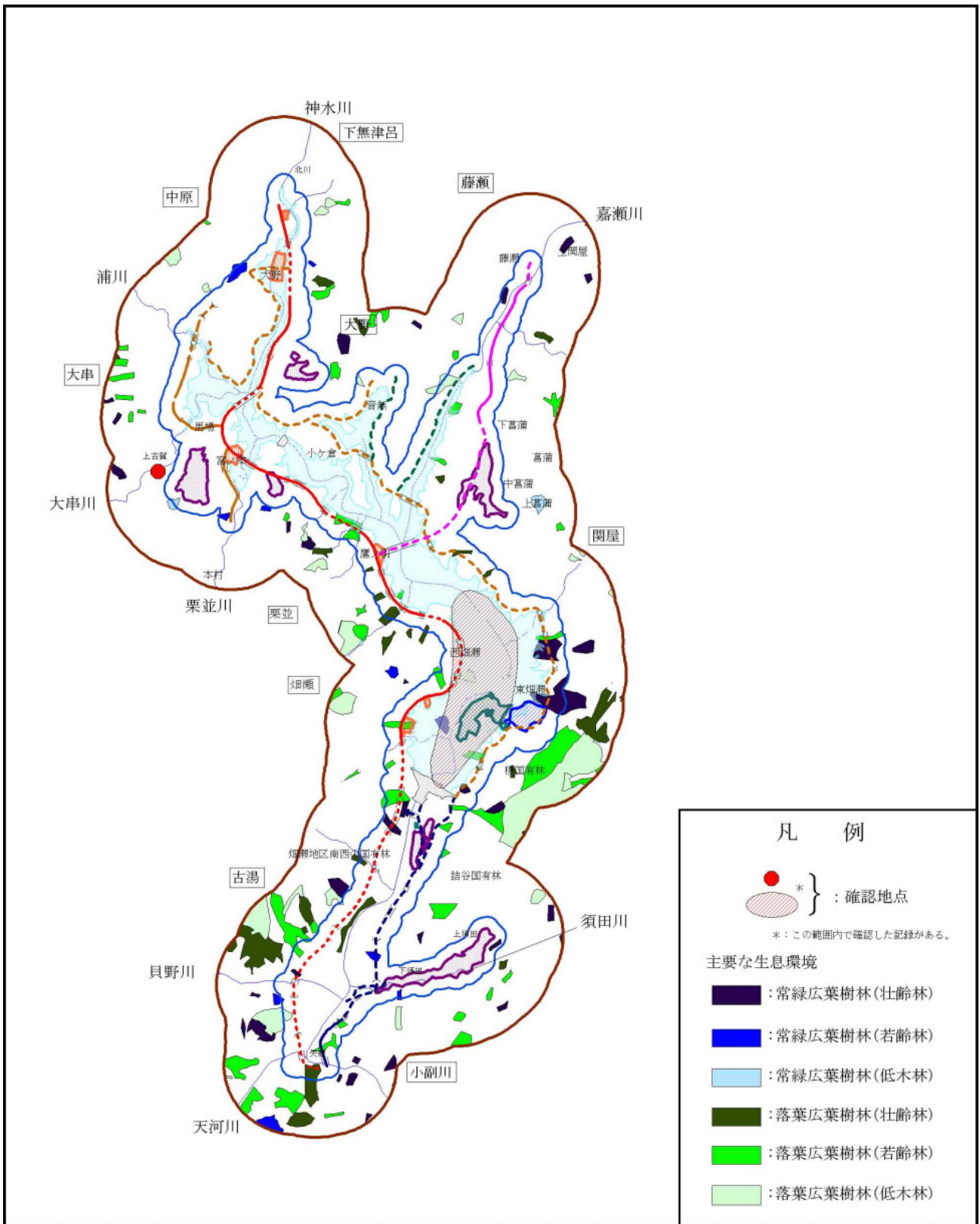
しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

iii) まとめ



本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。







しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。
























凡 例




 } : 確認地点
* : この範囲内で確認した記録がある。

主要な生息環境

-  : 常緑広葉樹林(壮齢林)
-  : 常緑広葉樹林(若齢林)
-  : 常緑広葉樹林(低木林)
-  : 落葉広葉樹林(壮齢林)
-  : 落葉広葉樹林(若齢林)
-  : 落葉広葉樹林(低木林)

凡 例

 : ダム堤体	 : 付替国道	 : トンネル
 : 副ダム	 : 付替国道(未完成)	 : 橋
 : 貯水予定区域	 : 付替県道	
 : 原石山	 : 付替県道(未完成)	
 : 土捨場	 : 付替町道	
 : 代替地	 : 付替町道(未完成)	
 : 施工設備	 : 付替林道	
 : 対象事業実施区域	 : 付替林道(未完成)	
 : 調査地域	 : 工事用道路	
	 : 工事用道路(未完成)	


1:50,000

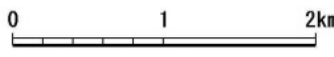


図4.1.5-13(29)
ヒメキベリトゲハムシ
調査結果と事業計画との
重ね合わせ図面